

工場労働職工の(分工場ノ職工ヲ全)増加ノ模様ナリ今工場ハ午三時中工
場ハ五時半閉鎖セリ 進マテ九俣本部集合職工田中梅次郎外
一名ハ午三時頃出勤簿約六百通ヲ本社ニ提出シ給料ノ精算方
ヲ要求シ来リトモ本日本人ニ於テ果シテ給料ヲ受取リタルヤ否ヤニ
以テ紛議ヲ生スルノ虞アリ以テ更ニ名簿ヲ記載シ提出スル様申
渡シ先引取ラシメタリ

(六月十二日)

工場側ノ言葉ニ各職工ニ対シ就業許可シテ配付シ其ノ去就ヲ確
ルノ方策ヲ採リ来リ十三日朝迄ノ中止者數本分工場ヲ通シテ五百
五十名ニ達シ工場主側ノ觀測ニ依リハ其ノ中止ヲ躊躇ヤルニ就職希
望ヲ有スルモノ約三百五十名アリト云フ 是等ハ多ク他ノ義理
合及迫害等ノ畏怖ヨリ態度ノ解明シ難ケルアリテ此朝出
勤セシハ亦工場七十七名及分工場五十四名計二百四十二名(野崎社)ナリ

本部在在職工約二百五十名ハ十三日朝本津川原地ニ集合シ社寺多ク拜
ト結ビテテ朝十時ノ後ヲ發シ道ヲトシテ各各々ニ歸リヨ本工場前ヲ經テ午後
神社一社島天神社ヲ往テ古神社巡拜ノ旨正午頃天王寺公園ニ到リ
一方大和川堤ニ集合セル部部在在職工約五百名ノ一隊ハ古神社ニ詣テ
阿倍野神社ヲ拜シ更ニ天王寺ニ到リ以テ皇宮公園ニ入り来リ申途
落伍スルアリテ約三百名減テ先着ノ中野職工團ト相會セリ
以上兩部隊ヲ行進中時々必齋歌ヲ高唱スル等ノことナリト天板ニ
着席ニシテ朝来ノ徒歩運動ニ疲タシ感ニ公園ニ入り来リテ今一ツ
ヲウレト内ニ集團シ指揮者松林君ノ挨拶アリ外ニ三ノ獲後進退アリ
一先ニ解散シ夕刻天王寺公園堂ニ於ケル懇話會ニ赴テリ
職工職工ノ大部今ヤ倦タシ色アリ幹會中ニ於テモ亦三者ノ調停
ヲ望ム如キト云フ申途合アリテ神社ニ參拜ノ如キモ甚面テ未感運動
ヲ之味也外ニ面職工ノ離散ヲ豫メ之ヲ防衛手段ニ出テラカカシ